2015 年 12 月 20 日　発行

Keio University

東村山三田会 Vol. 3

発行人：松田　博　編集人：東村山三田会会報編集委員会　発行所：東村山市廻田町 4-10-12　TEL：042-392-0378

2 年目を迎え新たな挑戦を！

東村山三田会会長　　松田　博

年末も迫って来ました。会員の皆様には何かと多忙の時期なのではないかと推察致しております。

会員及び役員の皆様のご協力・ご尽力により、東村山三田会も設立 1 年数か月経ち、会としての地盤を固めてきております。会の運用において、基本的なベースが確立した以上は、今後、それを基盤として、必要に応じて肉付けをし、装飾し、関連した新規な課題を加えていく、そして、少しずつ魅力ある会を打ち出していく必要が生じます。そのことは、マンネリ化を防ぐことにもつながります。当会が他の三田会とは異なった、いわば異彩を放つ会、素晴らしい会となる事を考えております。

11 月 21 日（土）に、忘年会を開催しました。時期としては少し早めかな、とも思いましたが、会場確保等の関係で早めの開催となった訳です。今回は、会員だけで懇親を深めようという主旨で、実施しましたが、音色の心地よい“マンドリン演奏”（「東村山市マンドリンアンサンブル」による）に酔いしれ、普段は馴染のない「ビンゴゲーム」（豪華賞品を目の前にして）の遊び等、盛り沢山の忘年会でした。そして、慶應薬学部 KP 会（OG による構成）の事務局長等の参加もあり、KP 会から多くの方の入会をお願いした次第です。

東村山三田会の活動目的の一つに、地域（東村山市）への貢献、を掲げていますが、貢献内容には諸々の事柄が考えられます。その内の活動として、会員誰もが気楽に参加でき、又地域の誰もが関心や興味を持つ活動を、という事と同時に今後統一標題のもとに継続していく事をも念頭に「東村山三田会イベント」という標題を掲げました。これを、年間 1～2 回、状況に応じては数回の実施を考えております。

今年度は、多摩六都科学館　高柳雄一館長を講師に迎え、“私たちが星空から学んだこと”のテーマで講演会を開催いたします（開催要項は当会報におり込んでいるチラシに記載）。平成 28 年 1 月 23 日（土）・14：30～16：30・会場：サンパルネ 2 階コンベンションホールです。高柳館長は、星の一つを命名している程宇宙に詳しい方だけに楽しい講演会になるかと思っています。塾員の皆様も、家族・知人・友人をお誘いしご参加下さい。

東村山三田会のホームページを開設しました。会の活動状況・会員へのお知らせ等と共に“会長コラム”の項も設け、少しでも充実したものに作成したいと考えています。インターネットで｛東村山三田会｝を検索し、ご利用下さい。

現在は、様々な難しさや何が何だか理解に苦しむような事柄の多い時代でもあります。どのような状

況下ではあっても、東村山三田会はシンプルで効率的で強く地に足のついた運用を心掛けたく思っております。最後になりましたが、皆様の更なるご協力・ご支援をお願い申し上げます。

第１回誕生会が開催されました　　澤田　和朋

誕生会を下記の要領で行ないました。当三田会で初めて実施したもので、8 月～11 月生まれの方々が対象でした。出席された皆さんがそれぞれ出身地のことや大学時代のことなどを短い時間ながら話されました。皆さんの背景がほんの一部ながら自己紹介されたわけですが、血縁こそないものの、地縁、学縁（？）を同じくしているからか、それぞれの話に聞く側の思いも入り込み、大変集中したまとまりのある楽しい会合となりました。今回の会合に感銘を受けたのは私 1 人だけではありませんでした。

今後同レベルの誕生会を継続していくことになりますが、親睦を深めるによい機会となりそうです。次回は 12 月～3 月生まれの方々が対象で 2 月下旬に予定されています（該当者には後日連絡される予定です）。同好会とはまた違った雰囲気なので、ぜひ参加されることをお勧めいたします。

＜誕生会要領は下記のとおり＞

日　時：H27 年 9 月 26 日　　17 時～20 時
場　所：本町一丁目　某店
会　費：4,000 円（飲み放題付き）
参加者：8 月～11 月生まれ 7 名と他に役員 6 名の計 13 名
誕生祝：バラの花一輪とお饅頭（誕生月の方々のみ）がありました。

忘年会を終えて　　河邊　番

三田会の年間催事をバランス良く配するため、今年度より忘年会を新規に設けました。初の今回は、会場の都合もあり、少し早めの開催となりました。

3 連休の初日と言うこともあったのでしょうか、また、忘年会と言うことで来賓は招かず会員だけの会とした事で、すこし少なめの 33 人の参加者でした。

しかし、少なさがかえって会員間に親近さを増し会話も弾み、中身の濃い良い会となった様な気がします。会場はスケッチ同好会員の力作の絵画が特別展示され、また、これから催されるビンゴゲームの商品も赤白と並び、華やかな雰囲気に彩られました。

会は松田会長の挨拶に始まり、続いて特別に参加頂いた薬学部ＫＰ会の近森温子理事から共立薬科大学が慶応大学と合併した経緯や現在の活動状況の報告があり、堀川勝夫先輩（Ｓ28 年卒）の乾杯のご発声で懇親会へと移りました。

懇親会に先駆けて「東村山マンドリンアンサンブル（11 名）」による 7 曲の演奏があり、最後の曲は今日のために練習を重ねてきたと言う“若き血”で会場の喝采を受けていました。会場はこのチロチロ

の音に何とも言えない長閑な雰囲気に包まれながら、賑やかに懇談の場へとなりました。

懇談中、同好会の紹介コーナーを設け、会場に同好会メンバー表を掲示し、会員の全員が何れかの会に、一つとは言わず二つ三つと登録をお願いしたい旨紹介があり、各幹事から夫々の同好会のＰＲが行われました。効を奏した同好会もあり、幾つかの会に数人が新規加入されました。特に、これから立ち上がる予定の同好会「たべあるく会」には人気が集まり一挙に 13 名程の名が連なりました。

会の後半には本日のメーンイベントのビンゴゲームが催され、リーチ、リーチとあちこちから声が掛かるも、一番手のビンゴの声は熊谷さん。リーチなれど中々ビンゴしない内田、田中、櫻井さんの 3 人がビリ決定戦の様相。やっと全員ビンゴで、商品も全員に行渡り、和やかな裡に終了しました。

最後は恒例の“慶応賛歌”と“丘の上”、そして全員肩を組み“若き血”の合唱。締めは生田先輩の音頭で三本締め。閉会の辞は若手を代表して朝木直子さん。こうして、初の忘年会は終始家族的な和やかな雰囲気の裡に無事終えることができました。皆様のご協力を感謝申し上げます。

同好会通信♪

☆ゴルフ同好会☆ ついにスタート！！　　河邊　喬　（14 名）

【幹事　河邊　喬（S42 年卒）　連絡先　tt.kawabe@jcom.home.ne.jp】

6 月、7 人参加での準備会を発足。コンペらしくするには少なくとも 2 組以上にしたいもの。平日開催を前提に検討。しかし、リタイア組だけではメンバーの不足が考えられ難航。幸いに、現役組からも開催時期によっては平日参加に協力するとの意を得て、一挙に前進。とりあえず 1 回実施してみて、詳細は後日に話し合うことで一致。

10 月 7 日（水）第 1 回東村山三田会ゴルフ会実施！当日、天気良し、最高のゴルフ日和。ゴルフ場「高根カントリー倶楽部」へは 2 台の車に分乗して出発。メンバー全員が近隣なので、各自宅までの迎えもスムース。予定時間通りにコースに到着（参加者は、手術をした人、急に都合が悪くなった人ありで最終的には 6 人の 2 組での実施）。

いざコースへ。スタートのいつもの緊張の第 1 打。ナイスショットの声も青 空にこだまして、まずは全員順調にスタート。その日の出来はやってみなければ分からないのがアマチュアゴルフ。飛ばし屋が有利ではあるがホールアウトしてなんぼの世界。これが楽しい。

競技終了後、クラブハウスでコーヒーとケーキでスコア表を見ながら批評会。表彰式は後日、改めて市内で行うことで、無事帰路へ。

また、次回の開催を早めに行うことにし、現役組の意向も勘案して **1 月に実施することとした。**

＜ゴルフ場　「高根カントリー倶楽部」　/　競技方法　ダブルペリア方式＞

順位	氏　名	グロス	HDCP	ネット	西コース	南コース	ニアピンコンペ
1 位	青木潤一	107	34.8	72.2	49	58	
2 位	飯塚武彦	104	30.0	74.0	48	56	NP 西 166y
3 位	河邊　喬	94	18.0	76.0	47	47	
	神尾常夫	94	18.0	76.0	47	47	
5 位	小駒基一郎	101	24.0	77.0	47	54	NP 西 125y
6 位	阿蘇秀男	94	16.8	77.2	49	45	

☆慶美会(スケッチ同好会) ☆　　神野　和夫 （7 名）

【幹事　清水英夫（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp】

スケッチ会にて

神野和夫

初顔合わせから 1 年。代表の清水さんの音頭で 2 回のスケッチ会（ガスミュージアム（小平）、殿ヶ谷戸庭園（国分寺）と懇親会を開催し楽しい一時を過ごしました。定例活動に加えて各メンバーが出品する展覧会（医師会館、上野の森、浅草等）にもお互いに足を運び、絵画を通じての親交を深めています。近年米寿を迎えられる大先輩から還暦前の若者？まで、経験も描き方（水彩、パステル、色鉛筆、ペン等）も様々ですが、絵に対する情熱のある方々が揃っています。会のネーミングは懇親会で全員のアイデアを出し合い「慶美会」に決定しました。屋外で 1 人絵を描くのは気恥ずかしいものですが、慶美会の方々と一緒に描くと皆さんの熱意と暖かい雰囲気の下で、出来栄えを気にせずスケッチブックに取り組むことができます。散策時間を含めた 2 時間程度のスケッチ会は時間があっと言う間に過ぎてしまい、満足する絵はなかなか描けませんが、集中して風景を見つめるだけでも頭がリフレッシュされ心地好い充実感を感じることが出来ます。

上州の秋（富岡街道）

千保　潔

場所を移動しての懇親会（久米川や東村山の居酒屋で開催）では、描いたばかりの作品から人柄や感性が感じられてまた格別です。今後冬場や夏場には気候や体力にも考慮して屋内のデッサン会（人物・静物）なども検討していますので、美術に興味がある方、絵筆を持ってみたい方のご参加を是非お待ちしています。

小平ガスミュージアム

清水　英男

水車

大滝　恒雄

江の島海岸

神野　和夫

扉(酒造・出石)

佐藤 辰弥

☆あるいて三田会東村山☆　　鈴木　実　(14 名)

【幹事　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com】

＜第 4 回　狭山・境緑道を歩き多摩六都科学館でプラネタリウム鑑賞(2015 年 11 月 5 日)＞

西武新宿線小平駅南口に 13 時 30 分定刻、朝倉、櫻井、鈴木、廣田、堀川、吉沼の 6 名が集合しました。

小平駅南口の西友横を通って狭山・境緑道（小平グリーンロード）に入り、本日のウォーキングがスタート。マイペースのＹさんは、猛烈なスピードで先頭を切って歩いていましたが、さてさて大丈夫か？

緑道沿いの桜はすでに落葉しており、一方で最近の温暖化のせいか楓の葉は緑のままで、紅葉までしばらくかかりそう。本格的な紅葉は１１月の末から 12 月初旬頃か？小平グリーロード沿いには、彫刻家・斎藤素巖のブロンズが 10 点以上野外展示されていて、一つ一つの作品を楽しみながらのウォーキング。

歩きだしてから 30 分ほどで「小平ふるさと村」に到着。移設された昔の小平郵便局舎の中には鉄兜、 ゲートル、 国民 服などが展示されていて往時を偲ばせる。隣の旧神山家住宅主屋の庭にはケン玉、竹馬などがあり、Ｈｉさんがケン玉に挑戦していました。

さらに歩くこと 30 分、花小金井駅近くで一息ついた頃からＹさんのペースが突然にダウン。その後は速度を落とし、多摩六都科学館を目指して歩きだしました。ところが、青梅街道沿いに立つ田無タワーが遠目に見えるも、閑静な住宅街が迷路のようで、歩けど歩けど一向に青梅街道にたどり着けない。やっと多摩六都科学館が見えたときはプラネタリウム上映時間が迫っており、スピードアップして最後のひと踏ん張り。遅れ気味のＹさんもなんとか追いつき、投影開始の 10 分前には多摩六都科学館へ到着しました。

プラネタリウムの鑑賞です。私（Ｓｕ）は不覚にも眠ってしまい、目が覚めたときには 15 分以上は過ぎていました。肝心の冬の星座に関する解説をほとんど聞き逃してしまいました。たったひとつ覚えていることと言えば、12 月 14 日の深夜から翌未明にかけての双子座流星群の観察は大いに期待でき、

流れ星が 1 時間あたりに 5、6 個も見られるとのことでした。帰りは花小金井駅まで歩いて 20 分弱の予定でしたが、お疲れ気味のシニア塾員もおり、コミュニティバスに乗って田無駅に出ることになりました。20 数分で田無駅に到着し、西武新宿線で本日の慰労会（こっちが本番か？）会場のある久米川駅へ向かいました。久米川駅から歩くこと数分、塾員の経営する天ぷら専門店「天よし」に到着、歩く会のメンバーで慰労会のみ！に参加する藤田氏がすでに店におりました。

全員揃ったところで慰労会がスタート。まずはビール（ウーロン茶の人も）で乾杯。メイン料理の天ぷらは海老の頭の唐揚げから始まりました。山芋、しっぽまで食べられる海老…と続き、最後に無花果の天ぷらが出たところでコースは終了となりました。天ぷらとお酒を楽しみながら「あるいて三田会東村山」のこれからの活動について話し合い、来年からは 2 ケ月ごとに年 6 回（これまでは 3 ケ月ごとに年 4 回）開催することが確認されました。(健康の維持・増進のため、あるいて三田会にぜひご加入を！)

☆ボウリング同好会☆　　紿田　俊哉　（10 名）

【幹事　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp】

当同好会は、毎月 1 回、平日午前 11 時半頃に久米川駅近くのレストランで昼食会を行い、その後、久米川ボールに移動し、ボウリング 2 ゲームを楽しんでいます。家族、他地域三田会員も大歓迎、特に得点を競うとかはなくマイペースで投げています。スコアは、30 点から 150 点程度なのでご安心ください。腰椎が潰れ、人工関節の会員も参加していますので、多少腰が悪くても、心配するような激しいスポーツではありません。昼食会のみのご参加でも構いませんのでお試しでいらっしゃってください。次月の予定はホームページのトップに記載されています。

☆麻雀同好会☆　　生田　英樹　（16 名）

【幹事　河邊　喬（S42 年卒）　連絡先　tt.kawabe@jcom.home.ne.jp】

麻雀は面白い。何が面白いかというと打つ人の個性、癖がでるからだ。先ず打っている時の様子だが、私の場合はひたすら黙々といたいが、そこは凡人たるところでついぼやく。ぼやきは反省の一つだが、実生活では過去を反省したことは 余り無いのに実に麻雀ではよくぼやく。過去を振り返り実生活でも麻雀の時のよう反省（ぼやき）を伴った生き方をしていればもっとましな人生があったような気が漠然としている。話を戻して麻雀で後でぼやくなら事前に慎重に打てばと思うのだがそこは凡人たる所以で同じ事を何度も繰り返しぼやく。そう考えると私の資質なのであろうか、今後もぼやき続けるだろう。

次に個性がでるのは麻雀の勝負に対する考え方だ。誰でも勝つ事を目標に麻雀を打っているのは言うまでもないがその勝ち方である。私の場合は勝ちにこだわる事を目標にしている。が一方手作りを楽しむ人もいる。相手の聴牌に対しここはと無理をしない人もいれば、何かにつかれたようにやみくもに突っかかっている人もいる。うまくいった時の快感が忘れられないのであろう。確かに敵のリーチを掻い潜って上手くいったときは人生で勝った様な気がしてたまらない。麻雀が止められないのもこんなところにあるのだろう。年齢をとってもこのような興奮をもたらしてくれる東村山三田会麻雀同好会に幸あれと感謝するばかりである。

＜5 月～10 月の優勝者＞　4 月と 9 月は休会（4 月は稲門会との慶早戦を実施）

	5　月	6　月	7　月	8　月	10　月
優　勝	斉藤忠義	田中康之	河邊　喬	河邊　喬	朝倉孝道 生田英樹

☆俳句同好会☆　　廣田　眞一　（8 名）

【幹事　廣田　眞一（S45 年卒）　連絡先 skan-hirota@royal.ocn.ne.jp】

TV 番組の辛口先生による才能アリナシ判定で、このところ注目度急上昇の俳句。当会も順調に月 1 度の句会を重ね爆走中です。今回は会員の自選句を披露いたしましょう。（俳号 50 音順）

空腹という死因あり敗戦忌　　かえる
とりどりの浴衣や戦後七十年　　岳徒
徒競走負けて頬張る青蜜柑　　栗丸
春しぐれ時の止まりし大社かな　　弦六
雨音の激しくなりし厄日かな　　千枝子
春風や銀杏並木にサキソホン　　まる子
春の灯や嫁ぐ娘の影見えて　　洋子

句会は 11 月 14 日開催分で 12 回を数え、季節が一巡しました。全員が集まるのはなかなか難しいですが，投句のみの方も含めると常時 6～7 名が参加しています。6 月には菖蒲まつり開催中の北山公園にて、初吟行も行いました。8 月開催の第 9 回句会からは兼題を設けることになりました。8 月「祭り」、9 月「月」，10 月「神無月」，11 月「木枯らし」と、季節を代表する季語が続いています。これは句歴の浅いメンバーへの配慮ゆえですが、毎回、秀句、佳句、ときに迷句（名句にあらず）が並びます。

句会日時は、できるだけ多くのメンバーが参加できる日をその都度決めていますが、現在のところ週末の午前中が多いです。場所はサンパルネ 3 階イルソーレ。

経験者も「ちょっとのぞいてみたい」という方も大歓迎です。お気軽にご連絡ください。

☆カラオケ同好会☆　　澤田　和朋　(23 名)

【幹事　加藤弘子（S39 年卒）　連絡先　hillacka-4-27@ezweb.ne.jp】

ウン十年も昔のこと、今と変わらず宴会と言えば酒と歌であったけれど、ただし、歌は伴奏なしの胴間声を張り上げて聞くに堪えない怒鳴り声を、私の場合はご披露したものだった。アカペラなどいうしゃれたものではとてもない。その癖が今も残っていて、カラオケ同好会に出席しても私の歌は蛮声を部屋中に響かせているだけである。もちろん、今は言うまでもなく優れた伴奏付きのはずであるが、私の場合は、伴奏が伴奏にならずに勝手に進んでいく。よく聞く話を自ら地で行っている。もうお酒なしにはすまされない。酒ナクテナンノ己ガカラオケカといったていたらくである。

当初、なにかの同好会に入ろうと思いながら大いに迷った。ゴルフは、これで腰を痛めてひどい目にあったことから、とうの昔にクラブを手放している。ボーリングも腰にワルイ。歩いてみたかい（三田会）は、それこそ毎日「雨ニモマケズ、風ニモマケズ、雪ニモ、夏ノ暑サニモマケ」ず、土日祝日も関係なく犬のお伴で歩いてばかり。俳句の会は赤い実に「小さい秋を見つけ」て喜ぶ感性も薄れてきており、英会話は、もうそろそろ外国語よりも仏様にお会いする準備に経文の勉強でも。麻雀は、入社以来仲間に点の勘定を任せっ放しのカモラレ役で、スケッチは、作画にはトラウマ的なところがあり、カメラもどうも…、といった具合で困り果てた末、大声を出すのは健康にいいらしいという理由だけで、カラオケ会を選んだものであります。

どうか歌の苦手な方こそ入会してください。「毎月一回、時々、天ぷら会食付き」です。いかがでしょう。5 人～8 人位の出席です。毎回、加藤弘子さん、朝木直子さんに設営のお世話をいただいています。なお、天ぷら会食は会員の田崎三千男氏が経営する「天喜（てんよし）」さんを利用させていただいています。それでは皆さんの入会を心待ちしています。

☆食べあるくかい(グルメの会)☆ 誕生しました！　　櫻井　正廣

【幹事　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com】

東村山の伝統的郷土食である手打ちうどん、B 級グルメとして知名度が高くなった黒焼そばに加え、生真面目なマスターの旬の食材を活かした天ぷら御膳、現地で修業を積んだシェフのイタリアン、使用する器も自分の窯で焼くなど拘りの蕎麦懐石など、市内のお店で食事を楽しみながら、楽しい時を過ごしませんか？

行ったことは無いけど一度行ってみたいと思っているお店、行ってみたところ非常に良い処なので皆に紹介したいと思っているお店、或いは、隠れ家的に気に入っているお店なので誰にも紹介したくないお店等、会員の皆さんのリクエストや推薦を頂きながら、まだまだ知らない市内の美味しいお店を探して、訪ねて行く予定です。

11 月 21 日の忘年会の席上で、企画をご案内したところ、10 名を超える皆さんから参加希望がありました。なるべく早く第 1 回を開催し、その後は、2 ケ月に一回程度の頻度で、夜の会だけでなく、時折昼の会も挟みながら開催したいと考えていますので、食べるのが好きな人も、飲むのが好きな人も、もちろん両方の人も、大勢の皆さまの参加をお待ちしています。

☆活動を予定している同好会☆

・写真同好会【幹事　稲葉光亮(S60 年卒)　連絡先 mit_tuba_178@yahoo.co.jp】
・護身術・健康運動同好会【幹事　佐野新太（H6 年卒）　連絡先 art-s313@ezweb.ne.jp】

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は幹事会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 170～200 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一
メール：　keio.mitakai.evm@gmail.com　件名「東村山三田会　会員通信 原稿応募」

編集後記

会報 3 号をお届けします。会の活動はますます充実し、各同好会も精力的に会員を増やし活発に活動している様子が紙面にあふれています。気のおけない塾員同士の交流が世代を超えて広がっていることが感じられるでしょう。まだ参加を躊躇されている方々、是非、三田会に参加してください。楽しいですよ。

（編集委員　廣田眞一・稲葉光亮・桝原克巳）